

優先的に取り組むべき事項について（案）

【子ども・若者の自殺対策の更なる推進】

- SOS の出し方教育などの推進に加え、子ども・若者の自殺危機に対応するために学校や地域の支援者などが相互に連携し、SOS を受け止められる仕組みを構築。
- 電話や面談、訪問の相談だけでなく、子どもや若者がコミュニケーションの手段として日常的に利用している SNS などを活用した相談の機会を確保。

【女性に対する支援の強化】

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大で顕在化した課題を踏まえた女性の自殺対策を「優先的に取り組むべき事項」として、本計画の基本的施策に新たに位置づけて取組を強化。
- 様々な困難・課題を抱える女性に寄り添ったきめ細かい相談支援などを推進。

【地域における支援体制の強化（ゲートキーパーの養成、活動の支援）】

- 自殺の危険を示すサインに気付き、声を掛け、話を聞き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る「自殺予防ゲートキーパー」の役割を担う人材を地域で養成。
- 広報活動などにより周知度を高めるとともに、必要な支援情報を盛り込んだゲートキーパー手帳を新たに作成するなど活動支援を行う。